



東京都市大学
TOKYO CITY UNIVERSITY

男女共同参画室

SANKAKU Letter No.9

2013年11月11日(月) 女性研究者研究活動支援事業シンポジウム2013

文部科学省主催「女性研究者研究活動支援事業シンポジウム 2013—世界で活躍できる理系女性研究者の育成—」がTKP 市ヶ谷カンファレンスセンターで開催されました。

本シンポジウムは平成18年に開始された文科省女性研究者支援モデル育成事業の進捗情報と事業終了後の女性研究者研究活動支援事業により得られた成果を検証するとともに課題解決のための今後の方策を模索するため、実施機関によるポスター発表・グループ討議及び有識者によるパネルディスカッションを行うものです。

本学の北澤宏一学長が「参加することと継続すること—そのためのしかけ」というタイトルで特別講演をされました。北澤学長は、「女性の社会進出先進国に学び、女性が参加し、継続できる環境を整えることが大切。」と述べられました。

男女共同参画室からはポスター発表と工学系機関として分科会に参加しました。



—— 2014年を迎えて 北澤学長より ——

男女共同参画は日本国憲法第14条の「基本的人権」によって保証されるものです。

その実現のために世界各国ともに種々の苦勞を重ねて来たものですが、この20-30年の間に大きな進歩がありました。

生涯を乗り越えた鍵となった展開は欧州でも米国でも“positive action”のしかけが明文化され、組織単位の規則として実行に移されることであつたと思います。

本学のこれまでの調査と運動の高まりがこのしかけとして結実していく努力をさらに続けて頂くことが今年の課題であると考えます。

2014/01/15 学長 北澤宏一

謹賀新年

岡田室長より
新年のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。

アベノミクス成長戦略の中核に「女性の活躍」の推進がありますが、さまざまな場面でいきいきと活躍する女性の期待が集まっています。しかし、昨年10月25日、世界経済フォーラム(World Economic Forum, WEF)が発表した「ジェンダー・ギャップ指数」で日本は、調査対象136カ国中105位で、前年より4位降格。「ジェンダー・ギャップ指数」とは、世界各国の男女平等の度合いを指数化したものです。日本は、識字率や高校までの教育水準では世界1位ですが、女性の就労者や政治家が少ないことが全体の評価を下げていました。

私は、本大学が積極的に女性研究者を増やし、また女子学生を育成することが、我が国の潜在的な能力を引き出すことに繋がると考えています。女性の能力発揮が進めば、社会全体として労働力、雇用・就業の質も高まり、女性の科学・技術人材の増加は新技術の開発や新たなアイデアなどイノベーションを促すことにもつながると思います。70年以上の本学の歴史の中で巣立ち働いている女性卒業生は、女性技術者として幅広い職業選択の情報提供を行える本学の財産だと思っています。

本年は、女性のライフ・ステージに対応した活躍支援、男女が共に仕事と子育て・生活を両立できる環境の整備にも力を入れ、男女共同参画室としてより意義のある活動を行って参りますので、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

男女共同参画室 2013年後半の活動報告

8/1/木 「私学経営」に男女共同参画室岡田室長の原稿掲載

8/8/木 世田谷キャンパスにて第12回科学体験教室を開催・運営参加「大学で楽しもう!小学生・中学生のための科学体験教室」

8/31/土 オープンキャンパスにて「リケジョ」応援コーナーを開設、パネル展示およびロールモデル集の配布

9/9/月 KBC 三軒茶屋にて第9回科学実験教室を開催

9/11/水 KBC 大井町にて第10回科学実験教室を開催

9/13/金 KBC 大倉山にて第11回科学実験教室を開催

9/17/火 KBC たまプラーザテラスにて第12回科学実験教室を開催

10/11/金 平成25年度第2回男女共同参画室会議を開催

10/19/土-20/日 尾山台商店街(ハッピーロード)で行われた尾山台フェスティバルにて科学体験出張教室を出演

10/23/水 KBC 雪谷にて第14回科学実験教室を開催

11/6/水 KBC 桜新町にて第15回科学実験教室を開催

11/11/月 女性研究者研究活動支援事業シンポジウム2013 - 世界で活躍できる理系女性研究者の育成 -

11/13/水 KBC 用賀にて第16回科学実験教室を開催

11/20/水 中部電力女性技術者と本学女子学生の交流会を開催

11/23/土-24/日 第84回東京都市大学世田谷祭にてパネル展示「大好き!都市大~リケジョのホンネ~」および女子中高生向け相談コーナー「リケジョ」応援コーナー」を開設

【世田谷祭】相談コーナー「リケジョ」応援コーナー・パネル展示「大好き!都市大~リケジョのホンネ~」

世田谷祭にて、理工系進学を目指す女子中高生を対象に相談ブース「リケジョ」応援コーナー」を開設しました。女子中高生が抱える不安や疑問に本学女子学生が生の声でお応えし、お悩みの解決や情報収集のお手伝いをいたしました。パネル展示では、アンケートで寄せられた女子学生のホンネを中高生、在学生、保護者、OB、OGの皆様にご覧いただきました。



2013年11月20日(水)

中部電力女性技術者と東京都市大学・同大学院工学系女子学生との交流会

中部電力(株)浜岡原子力発電所の女性技術者と東京都市大学工学系の女子学生の交流会を浜岡原子力発電所にて開催しました。本学からは工学系学部女子学生11人が参加しました。今回の企画には、工学部から、原子力安全工学科、機械システム工学科、エネルギー化学科、都市工学科、大学院の工学研究科からも共同原子力専攻、エネルギー化学専攻、建築学専攻など多分野からの参加がありました。電力会社からは、中部電力の他、東北電力、東京電力、関西電力、四国電力の原子力発電所で働く女性技術者も含め、14名が参加してくださいました。



この企画は、中部電力の原子力部門で働く女性技術者が、技術者としてのキャリアや今後の働き方を考えることを目的として中部電力からの要請を受けて実現しました。男女共同参画室としては、女子学生が先輩技術者と接することで、これからの自身のキャリアアップ、さらに今後のネットワークの構築につなげる目的で実施しました。

交流会では、最初に浜岡原子力発電所の地震や津波対策への取り組みなどの説明を受けた後、発電所構内を見学しました。

発電所見学後は、本学男女共同参画室長である岡田往子氏が「私が女性の能力を活用してほしいと切に願う理由」というタイトルで講演を行いました。これまでのキャリアや、本学で男女共同参画の活動に取り組んでいる理由について話がありました。岡田室長は、「結婚や子育ての経験は、社会とのつながりが多く、そこから得るものは大きい。社会の声を吸い上げ、仕事に反映してほしい。」と述べ、最後に「凜とした女の子におなりなさい」という阿久悠の詩の朗読から、女性としての働き方・生き方について参加者に向けて熱いメッセージを送りました。その後は、浜岡原子力発電所で働く2人の女性技術者が、これまでの経歴や業務内容などを紹介しました。学生達は、結婚し、子どもを育てながら働いているという女性技術者の話に興味深く聞き入っていました。



最後のグループディスカッションでは、中部電力の社員と他電力会社の社員、本学学生の5人でそれぞれグループを作り、①女性としての働き方、②原子力に対する思いという2つのテーマで意見交換を行い、学生からも多くの意見が出ました。ディスカッション後の各グループの発表では、中部電力の女性技術者の社員の方が中心となり、学生達の意見などを紹介しました。

交流会を終え、男女共同参画室としては、女性技術者の皆さんとの交流を通して、学生が多くの刺激を受け、感じ、考えたことを今後の学生生活や卒業後の人生に活かしていってくれることを望みます。さらに、このような活動を今後も広げていきたいと思っています。

参加学生の感想

自分で努力し、女性でも自由でのびのびとできる環境(研究室、職場、社会など)を築いていこうと思った。その中で、強さと優しさを兼ね備えたそんな女性・人として歩んでいきたい。

理工系は男子が多く、女子が少ない状況が普通であると思っていたが、自らが働きかけて「環境を整える必要がある」ことが大切だということに気付いた。

今回の交流会を今後のキャリアアップにしっかり反映させていきたい。とても有意義な時間を過ごすことができた。

子どもを生んでからも仕事をしている女性社員の方の話を聞くことができ、安心した。

収穫の多い交流会だった。今後の学生生活や就職活動にこの経験を活かしたいと思う。

社員の方が自分の仕事に誇りを持って働いている姿を見ることができ、感動した。

